



青空の下、華やかな浴衣で盆踊り！
(うえの保育所 夕涼み会 令和元年7月6日)

いよ

令和元年 夏号 議会だより

6月定例会

【特集】新しい議会構成が決まりました！ ズバリ！正副議長に聞く	2
常任委員会報告(ため池浸水想定区域図) 地域住民に対する事前説明は？	4
一般質問 7人が市政を問う	6
政務活動費を公開します！	15
きらきら・人 い〜よ ¹⁸ 伊予市からロシアの「バレリーナ」へ	16

スバリ!

新正副議長に聞く!

新しく就任された
正副議長にインタ
ビューしました!



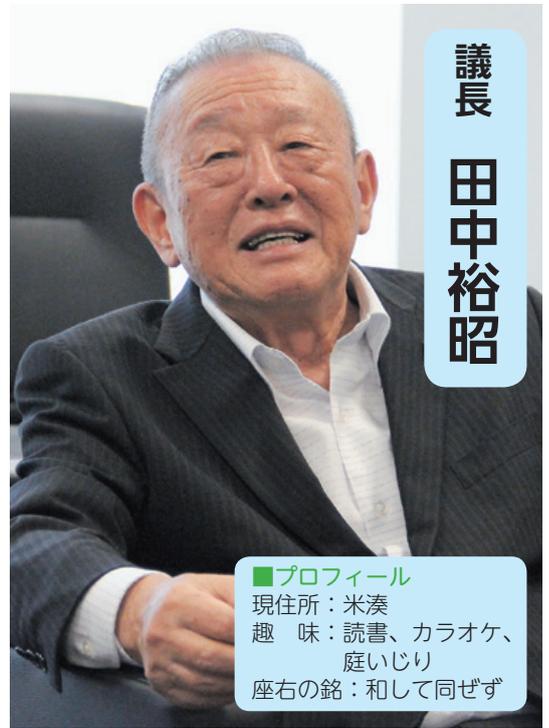
よしひさ議員

のある議会を目指す!

大野副議長
議長の補佐役として、
しっかり議長をサポート
することは当然のこと

田中議長
激しい時代の変化に応
じた独自性のある議会を
目指したいです。
長年主張し続け、念願
であった予算審査の一本
化、全議員が予算をチェッ
クできる予算審査特別委
員会を昨年度開催するこ
とができました。今回は
最後の総仕上げという気
持ちです。

田中議長
○抱負は?
すが、私は議員経験も年
齢も若いので、すべて勉
強と違って議長はじめ、
先輩議員の皆さんに、い
ろいろと教えていただき
ながら、議員として、一
人の人間として成長して
いきたいと思えます。
○どのような議会を?
年代別の市民の意見を
市政に反映することがで
きるように、議会報告会
の改善、子育て世代の女
性が参画できるルールづ
くりに取り組みたい。



議長 田中裕昭

■プロフィール
現住所：米湊
趣味：読書、カラオケ、
庭いじり
座右の銘：和して同ぜず

委員会には、議会を円滑に運営するための**議会運営委員会**や市の仕事を各分野に分けて審査する3つの**常任委員会**があります。今回は、各委員会から任期中（2年間）の活動目標など聞きました。（議会運営委員会は1年任期）

総務委員会

防災・減災対策に力を注ぐ!

引き続き、市民の命を守るための防災・減災対策に力を注ぎます。そのほか、ふるさと納税のさらなる充実、男女共同参画社会の実現に向けて、調査、研究していきます。



正岡委員 若松委員 田中(裕)委員 田中弘委員
川口副委員長 北橋委員長 水田委員

議会運営委員会

議会運営を正しくスムーズに!

昨年度は、市議会初の予算審査特別委員会を開催し、有意義な委員会が開かれたと思います。今年度は、決算審査特別委員会も含めて、さらに充実した委員会が開催できるよう調査、研究していきます。



日野委員 谷本委員 北橋委員 高田委員
正岡副委員長 武智委員長 若松委員

特集

新しい議会構成が決まりました！

時代の変化に応じた独自性

大野副議長

お年寄り、若い世代、子育て世代、子どもたち、そして男性も女性も関係なく、いろんな小さな声に耳を傾ける議会、またその期待にお応えできる議会を目指したいです。

○市民の皆様にもメッセージを！

田中議長

議会と聞くと市民にとってあまり身近な存在ではないと思いますが、市民生活に直結する重要な案件を審議するとても大切な会議です。そしてその会議では、市民の代

表である議員が地域のこ

とや市の政策、予算などについて真剣に議論しています。傍聴は当日の受付だけで簡単にできますので、ぜひ一度、お越しください。議員一同お待ちしております。

大野副議長

限られた予算の中で、できることは少ないのかもしれない。しかし、そんな時だからこそ、お一人おひとりの声に耳を傾けて知恵を出し合い、市民の皆様とともに伊予市のために全力で頑張っていきます。



副議長

大野鎮司

プロフィール

現住所：下吾川（烏ノ木）
趣味：旅行と楽しいイベントを企画すること
座右の銘：冬は必ず春となる

委員会から一言！

議会運営委員と各常任委員が新たに選任されました！



かどた議員

産業建設委員会

あれから1年、被災箇所の早期復旧を

西日本豪雨や相次ぐ台風に見舞われた昨年の災害から1年が過ぎました。本市では幸い人的被害はありませんでしたが、土砂崩れなどの大きな被害に遭いました。未だに復旧中の箇所も多いため、早期の完全復旧に尽力します。



門田委員

武智委員

森川委員

平岡副委員長

日野委員長

佐川委員

民生文教委員会

「IYO夢みらい館」プレオープン！

いよいよ今年の8月1日に「IYO夢みらい館」内に図書館と地域交流館がオープンします。この文化施設を市民はもちろん、市外に向けてもPRし、より多くの方に利用してもらえるように職員とともに尽力します。



吉久委員

谷本委員

大野委員

向井副委員長

高田委員長

久保委員

地域住民に対する事前説明は？

まず、地元区長へ事前説明を行う。

産業建設委員会

マップについては、全戸に配布する予定である。

答 農林水産課

ため池浸水想定区域図 作成業務委託料

現在の防災重点ため池数と年度計画等の詳細は。

答 農林水産課

ため池浸水想定区域図は、ため池ハザードマップの前段の資料となるもので、ため池が決壊した際の水の到達時間、水深等を詳細に表したものであり、ため池ハザードマップは、浸水エリアに避難所等を掲載したものである。

※「防災重点ため池」とは？

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池



国の基準に基づき「防災重点ため池(※)」を再選定した結果、98カ所が該当することとなり、今年度はそのうち60カ所の区域図を作成する。(写真は市ノ坪池:上吾川)

問 今後、地域住民に対して、どのように公表するのか。また、説明会等を実施する予定は。

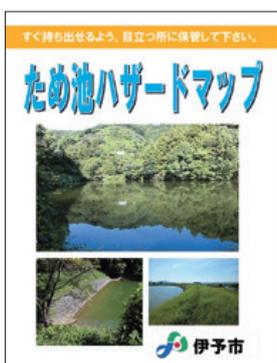
答 農林水産課

ため池浸水想定区域図は、市のホームページで公表するほか、地元の広報区長への事前説明と甚大な被害が想定される地区については、自主防災会や地域住民に説明することを考えている。

令和3年度以降に作成する新しい「ため池ハザード

問 今回作成する「ため池浸水想定区域図」と、これまで本市が作成した全戸配布した「ため池ハザードマップ」との違いは。

国が示した基準に基づき、防災重点ため池を再選定した結果、98カ所が該当することになり、今年度は60カ所、来年度は、残り38カ所のうち策定済みの20カ所を除く18カ所を実施する予定である。



現在全戸配布しているため池ハザードマップ(令和3年度以降にリニューアルする予定)

総務委員会

地域おこし協力隊 起業支援補助金

問 地域おこし協力隊が起業や事業承継に要する費用に対し、一人当たり100万円を上限として交付するための要綱を策定するものであるが、県内他市町と比較して補助額に差異はないのか。

答 未来づくり戦略室 現在、県内の協力隊導入19市町のうち、14市町が同様にこの要綱の策定、または、その準備を進めており、補助額は、国の要綱に基づいて策定していることから、基本的に差異はなく標準額である。

も対象となるのか。また、審査委員の構成は。

答 未来づくり戦略室

事業内容は、古着などのリサイクル販売事業と農業関連の事業と聞いている。対象要件として、この規定は、任期終了後から適用することを要件としており、任期中での退任による起業は認められない。

補助金を審議する審査委員については、要綱で審査委員会の設置を定めるが、副市長をはじめ4部長と未来づくり戦略室長の6人で構成する予定である。

子育て支援課

答 園児数は、今年度4月1日現在で、中山保育所が19人、中山幼稚園が4人であり、入園者数は未定であるが、来年度4月時点で、20人前後になると予測される。

職員配置は、現在、中山保育所が8人体制、中山幼稚園が兼務で従事している職員を半人役として換算し、2・5人体制で運営し

ているが、今後、認定こども園に移行するにあたり、園長以下、9人体制での運営を考えている。

東京オリンピック

事前合宿等負担金

問 今回、モザンビークのビーチバレーボール代表候補選手団を受け入れるわけだが、その詳細と交流事業など予定しているのか。

答 社会教育課 受け入れ期間は、7月20日から8月5日で、選手8人、コーチ1人、通訳1人の計10人の選手団を予定している。練習会場は五色姫海浜公園ビーチバレーコートとし、伊予市民体育館でのトレーニングも考えており、県の実行委員会や競技団体と連携し、練習試合や交流試合を実施するなど交流を深めたい。

民生文教委員会

中山幼稚園改修工事

問 中山保育所を廃止し、現中山幼稚園を認定こども園に移行することにより、園児数の増減と職員の配置はどうなるのか。

答 中山保育所を廃止し、現中山幼稚園を認定こども園に移行することにより、園児数の増減と職員の配置はどうなるのか。



来年4月1日から認定こども園に移行する中山幼稚園

議案等議員別表決結果一覧表

※田中裕昭議長は採決に入っていません。

令和元年第2回（6月）伊予市議会定例会
[会期：6月5日～6月25日 21日間]
○：賛成 ×：反対

番号	件名	議決結果	議席番号																	議決日		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18	19
			森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野鎮司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	田中裕昭	武智実	久保榮	田中弘	若松孝行	水田恒二	
議案第52号	四国縦貫自動車道における(仮称)中山スマートインターチェンジの建設事業に伴う工事に関する令和元年度契約について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	6月25日

[賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他案件についてはすべて全会一致で可決されました。]

向井 哲哉 議員 (P13)

- 1 新規就農者及び移住希望者への就農支援状況等について
- 2 消防団員の現状及び今後の団員確保の方策について

大野 鎮司 議員 (P14)

- 1 子どもから高齢者まで、安心・安全のための情報システム構築について
- 2 インフルエンザ予防接種推進について
- 3 子どもや若者がもっと相談しやすい体制づくりについて

※通告順（発言順）に掲載しています。

議会を傍聴してみませんか？

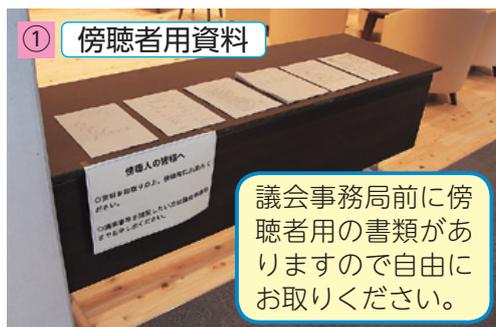
議員一同お待ち
しています！



たなか(裕)議長

傍聴は当日の受付だけで簡単にできます。本会議場ならではの雰囲気、ぜひ体験してください。

傍聴席案内図(市庁舎5階)



③車椅子用の段差解消機(昇降機)や④親子で議会を傍聴できる親子傍聴席も備えています。ぜひ一度お越しください！



ひらおか議員

一般質問

7人が市政を問う

6月定例会では、7人の議員が22件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。8ページから質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録（議事録）は9月上旬に市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムに掲載しますのでご覧ください。

伊予市議会



吉久 俊介 議員 (P 8)

- 1 ふたみシーサイド公園について
- 2 財政について
- 3 5Gの調査研究推進を

『色付きの質問』

は、次ページ以降に掲載しています！

水田 恒二 議員 (P 9)

- 1 水道行政に関連して
- 2 幼稚園・保育所に関連して
- 3 勤務中職員の喫煙対策を再度問う
- 4 道の駅のその後
- 5 市民の交通安全対策

9月定例会の日程は8月初旬頃にホームページで掲載予定です。広報いよし9月号でもお知らせします。



おおの副議長

平岡 清樹 議員 (P 10)

- 1 市役所の経費削減について
- 2 西日本豪雨から一年、豪雨対策と防災計画を問う

森川 建司 議員 (P 11)

- 1 職員による交通事故防止について
- 2 図書館・地域交流館のプレオープンについて
- 3 市内外国人の動向について
- 4 国旗掲揚運動推進について

川口 和代 議員 (P 12)

- 1 女性が活躍するために
- 2 介護予防事業・高齢者福祉事業の充実を
- 3 ごみ収集カレンダーについて

※通告順（発言順）に掲載しています。

「ふたみシーサイド公園」の全体改修 ゼロベースでの抜本的な見直しを!

吉久 俊介 議員



(答弁) 次期管理者はゼロベースの選定で臨む

問

ふたみシーサイド公園は年間を通じて数十万人が訪れる観光施設であるが、開業から20年以上が経過し、ハード・ソフト両面において、大小問わずさまざまなところが生じている。市長の所信表明で改修について詳細設計に着手するとあったが、本市の重要な観光施設であり、大きな期待を抱いている。

今回の改修を機に施設全体を抜本的に見直すという観点から、プロのコンサルティング、または同等の能力をもつ人材(機関)を施設的设计段階から導入しては。

答

ふたみシーサイド公園は、平成27年度に施設利用者と関係者を対象としたアンケート調査を実施し、結果から得られた要望や意見を反映させた基本設計が完了している。本年度は、この基本設計を基に指定管理者と関係者との協議に

より、詳細な改修実施設計を取りまとめることとしており、専門建築コンサルタントへ発注したところである。

今後、受注者に対し、関係者と緻密に協議を重ねて成案を得るべく指導していく所存であり、必要と判断する時は、販売上、あるいは管理上の専門家の意見を徴するように考慮願う旨のアドバイスも行ってみたい。

問

今回の改修を機に運営面・テナント面に対し、全くのゼロベースで見直し「新生ふたみシーサイド公園」を目指しては。

答

次期管理者はゼロベースでの選定で臨む。施設の管理運営に当たっては、指定管理者制度を採用しており、これまでも公募によるプロポーザルで運営管理者が指定されている。令和3年4月からの次期管理者については、令和2年度

に公募型プロポーザルによるゼロベースでの選定に臨みたい。また、テナントは、施設の部分的使用者として指定管理者の権限により選ぶこととなるが、改修後は、次期管理者との協議により、利用者のニーズ、社会的な要請、施設の設定目的等、禍根を残すことのないよう厳正に決定することを強く指導したい。



海水浴場からトイレへの動線が悪く、利用者にはわかりづらい。(ふたみシーサイド公園)

5G (第5世代無線通信規格) の推進

問

5Gの革新的な技術を利用した、まちづくりの可能性は、

答

今後も引き続き、可能性を模索したい。

5Gは、革新的な技術を支える基盤としての中核に位置付けられ、超高速通信が実用化することで、日本のどこからでも世界を相手に仕事ができ、日本のどこにいても教育や医療のサービスが享受できる社会が実現できるとされている。

働く場の確保や生活の質の維持は、本市における喫緊の課題である「人口減少対策」や「将来にわたる持続的発展」に繋がるものである。技術動向やその利活用は、国が中心となり、全国自治体に対してさまざまな形で情報提供しているため、現時点では、引き続き情報収集に努め、その可能性を模索したい。

「水道法改正」

民営化に移行の考えは？

水田 恒一 議員



(答弁) 水道事業単独での民営化の考えはない

問 水道事業の民営化に道を開く改正水道法が昨年12月に国会で成立した。民営化に移行すれば、市民も心配している点が多々ある。

まず、災害時の対応として給水車の派遣や復旧作業など適切に行われるのか。また、契約期間20年以上という長さ、自治体から水道事業運営の技術や知識、経験が失われ、契約終了時に運営権が返還されても水道事業の運営が適切にできるのかという問題もある。

現時点において、民営化を視野に入れた経営の変更を検討する予定はあるのか。

答 現在、本市を含め全国の水道事業者

では、施設管理や検針業務等について、さまざまな手法で民間に委託して水道事業を経営しており、実質的には官民連携があつてこそ水道事業が成

り立っている状況である。

現時点では、これらの深刻な問題を解決するために、県水道事業経営健全化検討会の中で、中長期的な視点に立って水道事業の持続に向けた経営のあり方の一手法である広域連携等について検討を行っており、今直ちに本市の水道事業単独での民営化の考えはない。

問 昨日、防災行政無線で、節水の呼びかけがあつたが、本市の水源地の現状と今後の見通しは。

答 上水道水源地の水位が平年を下回っている。

春先からの少雨により上水道水源地の水位が平年を下回っている。このため、6月5日から防災行政無線を通じて市民の皆さんに節水の呼びかけを実施し、さらに10日には、節水対策委員会を立ち上げて、さらなる節水をお願いしている状況で

ある。

今後、平年並みの降雨量が見込まれる予報もあるが、樂觀はできない。可能な限り早めの対策を講じ、市民生活に影響のないように努力を払っていくが、利用者の皆さんのご協力も訴えて参る所存であり、ご理解を賜りたい。



高瀬水源取水井門（上野）

本市の受動喫煙対策

問 西予市では、休憩時間を除く勤務時間中の職員の喫煙について、4月から段階的に禁

止し、7月から庁舎などの公共施設は、対策を講じた場所以外での敷地内禁煙とした。

答 本市の今後の対策は、検討して早急に結論を出したい。

全国的にも受動喫煙を防止する取り組みが進められているところであり、本市においても、その対応、対策が必要であると感じている。

今後は、まず受動喫煙防止策をどうするのか、これまでも敷地内全面禁煙にするのか、あるいは屋外で受動喫煙を防止するための措置を講じた喫煙場所を設けるのか検討してきたが、早急に結論を出したい。いずれにしても、7月1日以降は、現在の喫煙場所では喫煙できないため、職員にはおのずと喫煙の機会が制限されると考えている。これを機会に、勤務時間中の喫煙方法について検討したい。

「本市の経費削減(案)」 外部の民間企業に依頼しては?

平岡 清樹 議員



(答弁) ご意見として承っております

問 本市の財政が厳しいと言われている中、普段使われている消耗品や需用費などの経費について、過去5年間を調査した。

これらの経費削減に対し、外部から民間企業(全国数千社のクライアント)と交渉経験を持つ企業で新たなコスト削減が可能)に入っていたら、若い職員を中心にチームを組み、市職員も含めた「経費削減プロジェクト」などを実施しては。

答 現在本市では、市が行う施策や事務事業について、市職員による内部評価に留まらず、評価の客観性と公平性を確保するため、行政評価委員会による外部評価を実施している。また、伊予市補助金等審議会条例を定め、本市が交付する補助金などについても適正かつ効果的な交付を図ることを目的に審議を

行うこととしている。また、これらの機関からの意見を最大限に市政運営に生かしていくことが、先んじて必要かと考えているため、ご指摘の外部企業の導入については、ご意見として承っております。

また、すでに組織を挙げての経費削減に取り組んでおり、具体的には、職員に対して説明会等を実施し、情報共有を図り予算編成時から予算執行時まで全てにおいてコスト意識を持ち、経費削減を徹底している。

問 過去3年間の需用費は減少傾向にあるが、5年間でみた場合、実際には増えている部署もある。率先して削減に取り組んでいない部署もあるのでは。

答 いくら努力しても下がらない需用費もある。新規事業実施に伴う需用費の増や、年度によ

て必要となる特殊事情もあり、いくら努力しても需用費が右肩下がりにならない場合がある。例えば、4年に一度の教科書改訂に伴う指導書の買い替えは必須で、これだけでも年に1千万円単位の増加となる。

問 西日本豪雨から一年、豪雨対策と防災計画

問 昨年の被害により現在も復旧中の箇所は多々あると思うが、復旧工事の執行状況は。

答 安全確保や再度被災防止に努めている。

公共土木施設は、32件の被災があり、5月末現在で28件が契約済み、内2件が完成しており、執行率88%、残りの4件が入札待ちの状況となっている。農地・農業用施設と林業用施設は、29件の被災があり、13件が契約済み、内2件が完成しており、執行率45%、残りの16件が入札待ち、ま

たは設計中である。未竣工工事の危険箇所は、市道においては、路肩の面が崩落し、車両の通行に支障が生じた場合等は、山留め側を削るなどして幅員を確保、被災路肩には、路肩注意等危険杭の設置やシートで覆うなど、安全確保や再度被災防止に努めている。また、林道等での大規模な崩落・崩壊箇所は、通行止めにして迂回路を活用するなど、安全確保に努めており、危険な状況で車両の通行に供している箇所はない。



復旧工事の様子(双海町串:奥東)

道徳心の復活のために

「国旗掲揚日本一」を目指しては？



森川 建司 議員

(答弁) 引き続き、国旗への理解、定着に努める

問

5月に全国に衝撃を与えた川崎市殺傷事件が発生するなど、令和に入っても児童が被害に遭う事件は後を絶たない。

このような事件の根本には道徳心の欠如があると考えられる。この道徳心を復活させるために、ある著書には、「国や地域の歴史や文化に誇りを持ち、自分が国や地域と繋がっているという実感があれば、道徳心や命への尊厳は育つ」とあった。本市では、すでに行政、学校、地域が一体となり、地域の自然、文化、伝統に誇りを持ち、郷土に愛着を持つよう取り組んでいるが、さらにそれを推進するため、祝日に各家庭が国旗を掲揚することを提案する。

現在の市内小中学校や市の管理施設（公民館・消防等）における国旗の掲揚状況は。

答

学校行事では全ての学校が掲揚している。

平日に掲揚している学校は13校中、伊予小、佐礼谷小、翠小の3校で、祝日は、北山崎小と中山中となっている。また、入学式や卒業式などの儀式や運動会などの学校行事では、全て掲揚している。公民館では、伊予地域の4地区公民館は、平日、祝日も、全て掲揚していない。

本庁舎、地区公民館を含む中山、双海地域事務所は、平日と祝日に掲揚し、総合保健福祉センターは、休館日以外掲揚している。

学校給食センターと図書館は掲揚台が設置されていないため、掲揚していない。

問

「国旗掲揚日本一」を目指し、本市に全国から視察団が訪れることを目指しては。

答

本市では、これまで開庁日と祝日には庁舎で国旗と市旗を掲揚し、市が主催する行事等においては、その内容に即して国旗を掲揚するとともに国歌の斉唱・演奏等を行うことで国旗と国歌への理解、定着に努めてきた。

祝日に各家庭が国旗を掲揚することは、市民一人ひとりが国旗に対する理解を深めたいという個人の意思で行うものではないかと考えている。時間はかかるかもしれないが、各家庭や地域の中で徐々に理解を深め、自然に熟成されていくものと考えている。



平日にも国旗を掲揚している伊予小学校

在住外国人による不正受給問題

問

平成24年7月から住民基本台帳に外国人を含めるようになり、また、出入国管理法が改正され、本市も外国人がさらに増えると予測される。全国的に外国人による生活保護や国民健康保険の不正受給等が問題となっているが、本市の現況は。

答

本市での発生は把握していない。

外国人による不正受給等については、現在まで本市での発生は把握していないが、今後、改正入管法に基づき、新たな在留資格による外国人の増加が想定されることから、県外国人生活支援ネットワーク会議や出入国在留管理局などと連携を図りながら、相談支援や適正な資格審査などに努めている。

「女性が活躍するために」 女性議会を開催しては？

川口 和代 議員



(答弁) 魅力ある企画であり、検討したい

問 本市では、政策形成の場への女性進出は進んでいない。(現在女性議員1人・広報区長0人・課長級職員2人)

女性進出を推進するためには、地域のさまざまな場面で活躍する女性を増やし、そこから人材発掘や指導者養成に繋げることで、各年代、各地域の女性を集め、本市初の「女性議会」を開催しては。

答 行政や市議会への理解を深め、女性の社会参画や女性の視点を市政に反映するための魅力ある企画である。ただし、議員役になる方の確保や運営方法など検討する課題もあり、行政側からの押し付けにならないよう、女性リーダー育成委員会の意見も参考に検討したい。

問 男女共同参画社会の実現に向けて、具体的な取り組みは。

答 本年度から職員3人体制で事業を実施する。

今年度の取り組みとして、7月に女性リーダー育成委員会の開催、9月にえひめ女性財団と協力して開催するエンパワーメントカレッジ、10月に栃木県で開催される日本女性会議に市民の方2人を派遣する。

また、内部体制として、本年度からいずれも兼務であるが、職員を3人体制とし、今後の事業実施に向けた検討を行いたい。

問 審議会等に積極的に女性を登用し、施策を決定しては。また、女性消防団や女性防災士の活躍の場づくりも推奨してほしい。

答 登用率30%達成に向けて努力する。

審議会等への女性の登用は、前年度実績では、

23%に止まっており、目標数値30%達成に向けて努力していく。

女性消防団については、本団の中に「女性部」を設置し、女性の部長を配置して定例幹部会に出席してもらっている。

女性防災士については、各地区自主防災会長に対し、消防学校地域防災リーダー養成講座・避難所開設運営コースの受講を要請した。

ごみ収集カレンダーの見直しを

問 他市の事例を参考に、紙質や大きさを見直し、地区ごとに印刷するなど、貼っても折りたたんで保管しても利用しやすいカレンダーに改良しては。

また、「さんあ〜る」のさらなる普及を。

答 今後も引き続き、わかりやすいカレンダーを目指す。

他市のように地区ごとに印刷すると15種類の力



ごみ分別無料アプリ「さんあ〜る」

カレンダーが必要となり、それぞれの印刷部数が少量になることから印刷代が割高になる。今後も引き続き、経済性、利便性を追求し、わかりやすいものを目指したい。

「さんあ〜る」の普及については、市内公共施設や指定ごみ袋取扱店へのPRポスターの掲示依頼、広報紙への定期掲載、ごみ収集カレンダーへの掲載を行うなど、市民が目につける機会を増やしていく。



かわぐち議員

「介護予防事業・高齢者福祉の充実を」と題し、要介護・要支援認定されていない高齢者の介護予防に力を入れることが、これからの認定者数の減少に繋がるなど、さまざまな提案もしました！

「農業の担い手問題」

新規就農者への支援策は？

向井 哲哉 議員



(答弁) 主に就農初期に給付金などを支給している

問

現在、国の農業・農村を取り巻く環境は、就業者の高齢化や農地の荒廃など極めて厳しい状況である。本市においても農家の減少や耕作放棄地の増加などの問題が、今後深刻化するものと考えられる。

国は、新規就農者に対する支援に力を入れており、生計を維持した上で就農に向けて必要な技術習得のための研修や就農直後の経営確立への支援を行っている。

本市の新規就農者に対する支援事業の内容と、その実績や効果は。

答

就農前の支援策として、年に3回開催する勉強会の場で、就農に当たっての制度紹介、推進品目の現地視察、個別相談等の初期的な研修を行っている。また、就農準備のための研修支援策として、国事業とあいまって次世代ファ-

ーマサポート事業を実施し、新規就農研修センターでの肥料・農薬等に要する経費の2分の1を補助し、就農後の定着支援策として、機械・施設に要する経費の3分の1を補助している。

なお、研修生には、農業次世代人材投資事業「準備型」として、最大150万円の給付を最長2年間受けながら、就農後の栽培品目や経営規模の決定、農地確保のための支援がある。さらに、



新規就農者に対する支援として、年3回の勉強会を開催している。(写真は現地研修の様子)

就農者には、「経営開始型」として最大150万円の給付を最長5年間受けながら、農業経営の安定化をめざす制度も用意している。

これらの事業は、経営が不安定な就農初期に給付金を支給することで地域農業の中心となり得る青年農業者等の就農意欲の喚起と、就農後の定着に効果をもたらすためのものである。

消防団員の現状と今後の確保策

問

本市の消防団員数は年々減少しており、現在794人で条例定数を下回っている状況である。

それぞれの能力やメリットを活かし、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動ができる「機能別消防団員制度」を本市でも導入し、経験豊富な団員OBなどの知識や技能を活用するなど、

有事の際に基本団員の後方支援や補完的活動をしていただく体制づくりを目指しては。

答

維持管理は今後も継続支援をする。

本市の消防団員の充足率は約95%と比較的高い状況である上、部長や分団長を経験した後も団員に降格して引き続き在籍したり、一旦退団した後で再入団をしたりするケースもみられる。また、防火広報や救急救命講習の補助等は女性団員が担っていることなどの現状を踏まえ、幹部団員の間では、機能別団員やOB団員が必要との認識は薄いように見受けられる。

いずれにしても、機能別団員制度を否定するものではなく、制度導入については、本市消防団を取り巻く環境の変化などを注視しながら、必要に応じて消防団と協議する。

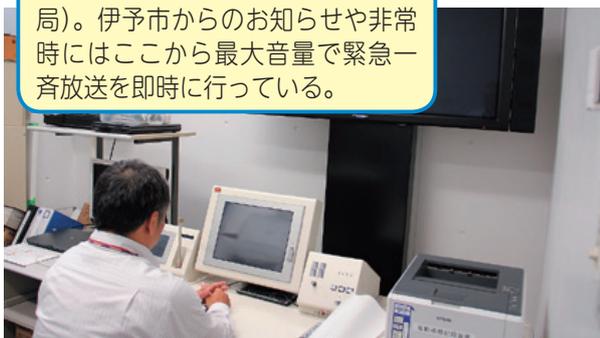
「防災行政無線」の課題解決 双方向性のあるシステム導入を！

大野 鎮司 議員



〔答弁〕 候補として更新時期を捉えて検討する

伊予市役所内にある放送通信室（親局）。伊予市からのお知らせや非常時にはここから最大音量で緊急一斉放送を即時に行っている。



問

本市の防災行政無線は、これまで多くの市民から「聞き取りにくい」、「音がうるさい」などといった意見があるなど課題も多い。

今回、新たな提案として、福岡県東彼杵町が導入している「アットインフォカナル」というシステムを紹介する。
このシステムは、双方向・マルチデバイス対応の情報配信サービスで、その特徴としては、スマ

答

ホヤタブレット端末、専用の戸別受信機などへの配信が可能で、「状況確認機能」を用いて高齢者に対する見守りにも利用できるものである。
現在の本市の行政防災無線の年間維持管理費と、初期投資費用も抑えることができるこのシステム導入の考えは。

現在の防災行政無線の年間維持管理

東彼杵町では、防災減災事業債導入時の目標として、戸別受信機1,000台、スマホ登録1,000人を目指し、現在、戸別受信機に569台、スマホに1,342人の方が登録しており、システムの年間使用料、維持管理費は約600万円だそうです。



おおの議員

問

これまで同様の質問をしてきたが、

予防接種の効果や副作用の問題、インフルエンザの予防接種は任意であること、また、財政面の問題など、課題が多く公費

受験生にインフルエンザ予防接種の助成を

費として、経常的には1700万円程度であるが平成30年度では修理等に関する経費約200万円を加えて1900万円程度の経費がかかっている。
このようなシステムを導入することについては戸別受信機の配備も検討しているところでもあり現行システムと並行しての導入は考えがたいところである。やはり、現在の防災行政無線システムの更新時期を捉えて検討することが現実的であり、将来的な防災行政無線の代替システムの候補の一つとしたい。

答

主旨は理解できるので今一度研究を深めたい。

前回の答弁では、一部を除きインフルエンザワクチンは、国の有効性評価の判断などから定期接種とはなっておらず、それを要件とする公費負担は難しいため、国の動向を注視していくとしていた。
現在、国の方針に変化は見られない状況ではあるが、ご提案の主旨は理解できるので今一度研究を深めて参りたい。



平成30年度

ホームページでは領収書等も公開しています。



政務活動費を公開します!

平成30年度(30年4月～31年3月)における議員別の政務活動費の支出内訳を公開します

(平成31年4月現在)

市	交付対象	交付額(月額)
松山市	議員	102,000円
東温市	議員	15,000円
今治市	会派/議員	30,000円
宇和島市	会派/議員	10,000円
新居浜市	会派	18,000円
西条市	会派/議員	15,000円
西予市	会派/議員	10,000円
伊予市	議員	10,000円

○県内11市の交付額は?

※本市では、「政務活動費運用の手引き」に基づいて運用しています。

政務活動費は、主に研修への参加や会議資料の作成費として使用されています。

政務活動費は、主に研修への参加や会議資料の作成費として使用されています。

地方自治法並びに市の条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に役立つために必要な経費の一部として交付されるもので、本市は、一人当たり年額12万円を交付しています。

○政務活動費とは?

八幡浜市・大洲市・四国中央市は、交付なし。

平成30年度 政務活動費収支一覧表

議席番号	氏名	交付額A	執行額B	差引額A-B	戻入額※	支出科目									
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
1	森川建司	120,000	106,653	13,347	13,347		70,245						36,408		
2	吉久俊介	120,000	55,870	64,130	64,130	47,880					7,990				
3	川口和代	120,000	110,788	9,212	9,212	46,820	5,000						58,968		
4	向井哲哉	120,000	66,874	53,126	53,126	49,150	15,240						2,484		
5	平岡清樹	120,000	191,125	△ 71,125	0	47,550		143,575							
6	高田浩司	120,000	115,228	4,772	4,772		73,245					15,196	26,787		
7	大野鎮司	120,000	78,034	41,966	41,966	47,550						11,884	18,600		
8	門田裕一	120,000	119,219	781	781	81,358						4,329	33,532		
9	日野猛仁	120,000	142,310	△ 22,310	0	35,040	6,000	80,000					21,270		
10	北橋豊作	120,000	136,348	△ 16,348	0		49,520					3,234	83,594		
11	佐川秋夫	120,000	122,244	△ 2,244	0	47,880	44,020						30,344		
12	谷本勝俊	120,000	133,968	△ 13,968	0							75,000	58,968		
13	正岡千博	120,000	128,309	△ 8,309	0		73,245					15,503	39,561		
14	田中裕昭	120,000	128,860	△ 8,860	0	47,880	41,020						39,960		
15	武智 実	120,000	88,900	31,100	31,100	47,880	41,020								
16	久保 榮	120,000	122,665	△ 2,665	0		107,665					12,600	2,400		
17	田中 弘	120,000	141,568	△ 21,568	0		39,620	99,200				2,748			
18	若松孝行	120,000	41,020	78,980	78,980		41,020								
19	水田恒二	120,000	404,624	△284,624	0			400,824	3,800						
合計19名		2,280,000			297,414	498,988	606,860	723,599	3,800	0	7,990	140,494	452,876	0	0

※交付額より支出額の多い議員は、戻入額を0と表記

伊予市からロシアの「バレリーナ」へ

ながい 永井 あやひ 彩陽さん(23歳)



かわぐち議員

彩陽さんはとても穏やかでチャーミングなお嬢さんでした！そして内に秘めた強さも感じました！

Profile 【出身地】下吾川【身長】163cm【出身校】天使幼稚園→郡中小→港南中→伊予高2年生→ロシア国立ポリショイバレエ学校→モスクワシティバレエ入団（プロとなる）ヨーロッパツアーに参加【座右の銘】なんとかなるさ

●いつからバレエをはじめましたか？

小学校に入ってから始め、週1回、松山市の森田バレエ教室に通っていましたが、中学1年生の時に伊予市に武市バレエスタジオができてからは、毎日通うようになりました。

高校2年生の時にポリショイバレエ学校（※）のオーディションに合格したことが、プロのバレリーナになる分岐点となりました。

（※）バレエの世界最高峰であるロシアの中でも「ポリショイ・バレエアカデミー」（正式には、モスクワ国立舞踊アカデミー）は、ロシアで最も権威あるバレエ学校の一つである。

●ロシアでの生活は？

ロシア語が全くできなかったのですが、授業も理解できず、辞書を片手に苦勞しました。苦手な食べ

物はなく、ブリヌイ（ロシアのクレープ）は大好きです。

●バレエへの想い

これまでどんなに厳しい練習やつらいことがあっても、バレエを辞めたいと思ったことは一度もなかったです。幸い大きなケガもなかったため、元氣な身体に産んでくれた両親に感謝しています。コール・ド・バレエ（群舞）では、周りとの調和に気を付けて踊っています。「自分が楽しく」が一番のモットーです。



永井さん
ヨーロッパツアーで活躍する永井さん。（コール・ド・バレエの写真）

●今後の目標と夢

舞台を観ていただいた人が、その物語の中に惹き込まれるような踊りをしたいです。個人的にはプリンシパル（バレエ団のトップの踊り子）を目指します。踊ることがとても好きなので、踊る場所さえあれば、どこでも踊りたいです。

恩師の武市京子先生からのメッセージ！

彩陽さんは、武市バレエスタジオの第1号の生徒さんで、そして第1号のプロバレリーナです。これからも素直な彩陽さんらしくがんばってください！



伊予市に帰省した際は、天使幼稚園を訪問して、一緒に踊ったり、基本の姿勢を教えたりするなど、子どもたちと交流するのが毎年の恒例となっています。

編集後記

5月9日の臨時会で新しい議会構成が決まり、今号から広報調査特別委員会も新しい委員によるスタートとなりました。今回、最終ページ「きらきら・い〜よ」で、永井さんを川口議員と一緒に取材しました。一流のプロバレリーナという肩書きから、最初お会いする前は緊張していましたが、実際会ってお話をしてみると、気さくで、話しやすくとても笑顔がすてきな方でした。伊予市には自分が知らないだけで、世界で活躍されている素晴らしい人材がいるんだと気づかされました。今後も多方面で活躍する「きらきら」した人を発掘して、議会だよりでどんどん取り上げて応援していきたいと思っています。

議会広報調査特別委員会 [委員長] 向井哲哉 [副委員長] 川口和代 [委員] 門田裕一 大野鎮司 平岡清樹 吉久俊介 森川建司 むかい委員長

